



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月31日

上場会社名 株式会社アイナボホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7539 URL <http://www.ainavo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阿部一成
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 奥山学志 (TEL) 03-4570-1316
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績(2025年10月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	70,732	2.0	1,966	△1.8	2,262	△0.7	1,415	△0.5
2025年9月期第3四半期	69,358	3.3	2,001	23.5	2,279	23.2	1,422	41.8

(注) 包括利益 2026年9月期第3四半期 1,532百万円(8.4%) 2025年9月期第3四半期 1,413百万円(30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	60.93	—
2025年9月期第3四半期	61.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	47,948	27,194	56.7
2025年9月期	47,481	26,298	55.4

(参考) 自己資本 2026年9月期第3四半期 27,194百万円 2025年9月期 26,298百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	12.00	—	14.00	26.00
2026年9月期	—	13.00	—		
2026年9月期(予想)				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の連結業績予想(2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	98,500	6.7	2,100	△17.1	2,600	△8.8	1,600	△4.7

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社上埜タイル、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年9月期3Q	23,295,640株	2025年9月期	23,295,640株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	64,212株	2025年9月期	64,212株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年9月期3Q	23,231,428株	2025年9月期3Q	23,186,373株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は四半期決算発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(表示単位の変更について)

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額については、従来、千円単位で記載しておりましたが、第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更しております。なお、比較を容易にするため、前連結会計年度についても百万円単位に変更して記載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は707億32百万円と前年同四半期に比べ13億74百万円(2.0%)の増収となりました。

損益面につきましては、売上総利益は前年同四半期に比べ6億77百万円増加したものの、人件費等の販管費が前期比で8.6%増加したことにより、営業利益は19億66百万円と前年同四半期に比べ35百万円(1.8%)の減益、経常利益は22億62百万円と前年同四半期に比べ16百万円(0.7%)の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億15百万円と前年同四半期に比べ7百万円(0.5%)の減益となりました。

今後の見通しにつきましては、中東情勢の緊迫化に収束が見えつつあるなか、住宅関連メーカーからの商品の供給状況は回復傾向にあり、また4月以降の新設着工数も一昨年並みには増加しており、市場環境は回復に向かうことが予想されます。一方で、石油製品の高止まりや円安の進行などにより、各メーカーからは今秋以降の価格改定の要請が出ており、建築コストの上昇や金利の先高観への懸念から購買意欲を減退させる可能性もあり、今後の動向に注視し、迅速かつ柔軟に対応してまいります。

そのようななか、当社グループは当期を初年度とする3か年計画を策定しました。3年後の業績目標として、売上高1,120億円、営業利益31億円を定め、継続的な成長戦略として今後も従業員の積極的な採用とM&Aを活用しながらエリア・商材の拡大を実行してまいります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(戸建住宅事業)

戸建住宅の市況につきましては、住宅リフォーム市場の景況感は概ね前年並みで推移し、新築住宅の着工数も本年4月以降は回復に向かいました。

このような事業環境のもと、タイル及び建材関連販売につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、高額物件向けの流通タイル販売が増加したことや、販売強化対象である木質建材の販売が増加したことによるものであります。タイル及び建材関連工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、新築着工数減少の影響によりサイディング工事は減少したものの、市場シェアの高いタイル・石材工事並びに取り扱い強化対象であるサッシ工事が増加したことなどによるものであります。住宅設備・衛生・空調機器販売及び工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、新築着工数減少の影響により水回り商材や衛生陶器類の販売は微増だったものの、高所得者向けのオリジナル浴槽の販売および仕入れ強化対象である家庭用エアコン等の販売が増加したことなどによるものであります。

以上の結果、戸建住宅事業の売上高は594億63百万円と前年同四半期に比べ16億1百万円(2.8%)の増収、セグメント利益は、23億78百万円と前年同四半期に比べ92百万円(4.1%)の増益となりました。

(大型物件事業)

大型物件事業の市況につきましては、民間非住宅投資、公共建設投資は概ね前年並みで推移したものの、マンション向けの建設投資は力強さに欠けた状況が続きました。

このような事業環境のもと、タイル及び石材工事につきましては、売上高は前年比プラスで推移しました。その主な要因としましては、既存得意先からの受注量は減少したものの、新たに連結対象とした子会社の売上が加算されたことなどによるものであります。住宅設備・衛生・空調販売及び工事につきましては、売上高は前年比マイナスで推移しました。その主な要因としましては、公共施設のリニューアル物件向けの空調工事の売上が増加したものの、マンション向けの住宅設備工事が受注不足の影響により売上が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、大型物件事業の売上高は112億68百万円と前年同四半期に比べ2億27百万円(2.0%)の減収、セグメント利益は、利益率の高いタイル工事・空調工事の売上が増加したことにより、10億37百万円と前年同四半期に比べ84百万円(8.9%)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ4億66百万円増加し、479億48百万円となりました。これは主として、商品が5億86百万円、未成工事支出金が6億25百万円、投資有価証券が3億84百万円、建物が1億70百万円、土地が1億18百万円、建設仮勘定が1億96百万円、のれんが1億38百万円増加した一方で、受取手形・完成工事未収入金等が11億35百万円、重要性が増したことにより非連結子会社であった株式会社上埜タイルを連結の範囲に含めたこと等により、子会社株式（投資その他の資産、その他）が8億9百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ4億28百万円減少し、207億53百万円となりました。これは主として、短期借入金が4億78百万円、未成工事受入金が6億61百万円増加した一方で、未払法人税等が6億26百万円、ファクタリング未払金が2億17百万円、未払費用（流動負債、その他）が4億48百万円、未払金（流動負債、その他）が2億60百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ8億95百万円増加し、271億94百万円となりました。これは主として、利益剰余金が7億78百万円、その他有価証券評価差額金が1億63百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の連結業績予想につきましては、2025年11月13日に公表いたしました連結業績予想の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,124	13,292
受取手形・完成工事未収入金等	13,933	12,798
商品	1,156	1,742
未成工事支出金	2,892	3,518
販売用不動産	54	54
その他	1,766	1,801
貸倒引当金	△17	△17
流動資産合計	32,910	33,189
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,398	1,567
機械装置及び運搬具（純額）	11	23
工具、器具及び備品（純額）	99	96
土地	5,144	5,263
リース資産（純額）	68	52
建設仮勘定	0	197
有形固定資産合計	6,723	7,200
無形固定資産		
のれん	207	345
その他	280	243
無形固定資産合計	487	589
投資その他の資産		
投資有価証券	2,109	2,493
長期貸付金	5	5
退職給付に係る資産	1,189	1,230
繰延税金資産	323	190
その他	3,859	3,161
貸倒引当金	△126	△111
投資その他の資産合計	7,359	6,969
固定資産合計	14,571	14,758
資産合計	47,481	47,948

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,624	9,659
ファクタリング未払金	4,468	4,250
短期借入金	215	693
リース債務	26	22
未払法人税等	821	195
未成工事受入金	1,080	1,741
完成工事補償引当金	67	61
工事損失引当金	51	74
その他	3,075	2,136
流動負債合計	19,431	18,835
固定負債		
長期借入金	101	129
リース債務	48	35
繰延税金負債	293	431
役員退職慰労未払金	385	415
退職給付に係る負債	114	126
その他	809	779
固定負債合計	1,751	1,918
負債合計	21,182	20,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	896	896
資本剰余金	1,404	1,404
利益剰余金	23,115	23,894
自己株式	△13	△13
株主資本合計	25,403	26,182
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	396	560
退職給付に係る調整累計額	498	452
その他の包括利益累計額合計	895	1,012
純資産合計	26,298	27,194
負債純資産合計	47,481	47,948

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	69,358	70,732
売上原価	59,096	59,792
売上総利益	10,261	10,939
販売費及び一般管理費	8,259	8,973
営業利益	2,001	1,966
営業外収益		
受取利息	8	16
受取配当金	36	48
仕入割引	95	96
不動産賃貸料	86	86
その他	99	97
営業外収益合計	326	345
営業外費用		
支払利息	13	15
支払手数料	3	3
不動産賃貸原価	29	28
その他	1	1
営業外費用合計	48	49
経常利益	2,279	2,262
特別利益		
固定資産売却益	4	0
投資有価証券売却益	17	38
特別利益合計	22	39
特別損失		
固定資産除却損	5	30
抱合せ株式消滅差損	33	—
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	38	30
税金等調整前四半期純利益	2,263	2,271
法人税、住民税及び事業税	695	654
法人税等調整額	146	201
法人税等合計	841	855
四半期純利益	1,422	1,415
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,422	1,415

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,422	1,415
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	163
退職給付に係る調整額	△35	△46
その他の包括利益合計	△9	116
四半期包括利益	1,413	1,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,413	1,532
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年11月13日 取締役会	普通株式	254	22.00	2024年9月30日	2024年12月2日	利益剰余金
2025年4月30日 取締役会	普通株式	278	12.00	2025年3月31日	2025年6月2日	利益剰余金

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。「1株当たり配当額」につきましては、当該株式分割前の金額を記載しております。

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年11月13日 取締役会	普通株式	325	14.00	2025年9月30日	2025年12月1日	利益剰余金
2026年4月30日 取締役会	普通株式	302	13.00	2026年3月31日	2026年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	157百万円	187百万円
のれんの償却額	53百万円	41百万円

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年10月1日 至 2025年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,495	57,862	69,358	—	69,358
セグメント間の 内部売上高又は振替高	0	1	1	△1	—
計	11,496	57,863	69,359	△1	69,358
セグメント利益	952	2,285	3,238	△1,237	2,001

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,237百万円はセグメント間取引消去213百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△1,450百万円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年10月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	大型物件事業	戸建住宅事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,268	59,463	70,732	—	70,732
セグメント間の 内部売上高又は振替高	8	20	28	△28	—
計	11,276	59,484	70,761	△28	70,732
セグメント利益	1,037	2,378	3,415	△1,449	1,966

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,449百万円はセグメント間取引消去181百万円と各報告セグメントに配分していない全社費用△1,631百万円が含まれております。全社費用は主に、総務、経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。